

# 第66期 年次報告書

平成23年12月1日～平成24年11月30日



**マルカキカイ** 株式会社

# 日本・米州・中国・東南アジアの4極を結集し、 真のグローバル企業を目指します。

当連結会計年度におけるわが国経済は、自動車関連産業の回復に加え東日本大震災の復興特需等もあり、緩やかな景気回復が続きました。中国では景気の減速など成長率の鈍化がみられましたが、東南アジア諸国では各国が内需喚起策を展開し、その効果から堅調な景気が続きました。また北米においては、失業率の高止まりなど懸念材料はありますが、設備投資に回復基調がみられました。欧州の経済不安や円高の長期化等、景気の先行きは不透明でありまし

たが、総じて当社グループが拠点を有する地域の設備投資は、緩やかではありますが回復基調が続きました。

このような状況におきまして、当社グループでは、日米中亜（日本、米州、中国、東南アジア・インド）の4極体制の構築を柱として海外事業の拡大を推進してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は41,968百万円（前期比29.4%増）、営業利益は2,311百万円（同

## 財務ハイライト

### 売上高(連結)

(単位:百万円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



### 営業利益(連結)

(単位:百万円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



### 経常利益(連結)

(単位:百万円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



119.0%増)、経常利益は2,495百万円(同102.9%増)、当期純利益は1,366百万円(同101.1%増)となりました。

今後の事業展開として、産業機械部門については、日米中亜(日本、米州、中国、東南アジア・インド)4極体制の力を結集し、真のグローバル企業を目指すべく、各国間取引の拡大、海外商品の発掘、海外サービスの充実を推し進めてまいります。

建設機械部門においては、復興需要が本格化してきた東北地方とその他の地域との間で設備投資への意欲に差があり厳しい状況ではありますが、お客様のニーズを掘り起こして当社グループ主力商品であるクレーンの拡販とクレーン以外の商品開発に努め

るとともに、中古建設機械の輸出と建設機械の海外レンタルなど海外事業展開を推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



取締役会長 釜江 信次



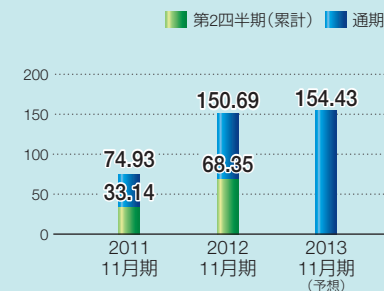
取締役社長 竹下 敏章

## FINANCIAL HIGHLIGHTS

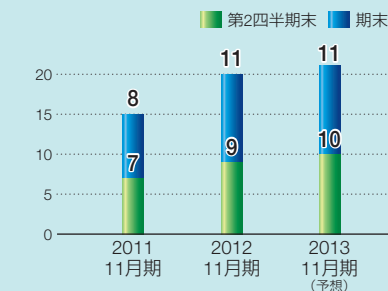
### 当期(四半期)純利益(連結) (単位:百万円)



### 1株当たり当期(四半期)純利益(連結) (単位:円)



### 1株当たり配当実績および予想 (単位:円)



## 産業機械部門

日本では、設備投資は緩やかではありますが回復し、中国、東南アジアにおいても設備投資は自動車関連をはじめ底堅く推移し、特にタイにおきましては、洪水復旧需要もあり、大幅に伸ばいたしました。また、アメリカにおいては、自動車関連・航空機関連で伸びし、好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は35,841百万円（前期比35.7%増）、営業利益は2,814百万円（同66.3%増）となりました。



## 建設機械部門

建設機械部門を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、主力商品のクレーンの販売は苦戦しましたが、基礎機械は伸ばいたしました。また子会社のジャパンレンタルは堅調に推移いたしました。



この結果、当部門の売上高

は6,078百万円（前期比1.6%増）、営業利益は269百万円（同126.2%増）となりました。

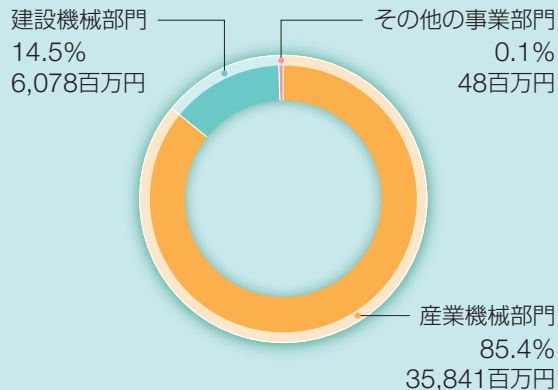


## その他の事業部門

当部門は、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は48百万円（前期比11.3%増）、営業利益は21百万円（同1.8%減）となりました。

### 売上高構成比(連結)



## 日・米・中・亜4極体制の構築。

当社グループは、新年度の経営スローガンを「日米中亜4極の結集 真のグローバル企業へ」と決めました。日本、米州、中国、インドを含む東南アジアの4極を営業の拠点として、各地域を統括する役員を配置し、機動的なグローバル営業の展開を推進してまいります。

2012年度の連結売上高に占める海外売上比率は58.8%と、海外売上は年々増加しております。この4極をさらに発展させ、お客様のあらゆるご要望に素早く対応できる体制を構築してまいります。

## ITI社を買収。米州での営業をさらに発展させます。

マルカ・アメリカは2012年10月に、エンジニアリング会社のインダストリアル・ツール社(ITI社・米国ミネソタ州)を買収いたしました。マルカ・アメリカは北米で工作機械等の販売を行っておりますが、このITI社をエンジニアリング部門に取り込むことにより、工作機械の本体の販売に加え、設備自動化の提案、治具の提供などお客様の幅広いニーズに対応ができ、ITI社とのシナジー効果から米州での収益拡大が期待できます。

## メキシコに新たに営業拠点を設置。

2012年11月に、新たな海外拠点として、メキシコ合衆国アグアスカリエンテスに現地法人を設立いたしました。

メキシコは特に日系自動車メーカーの生産拠点として注目をされており、今後大いに期待される市場であります。メキシコ進出のお客様のご要望にお応えできるように体制を整えてまいります。

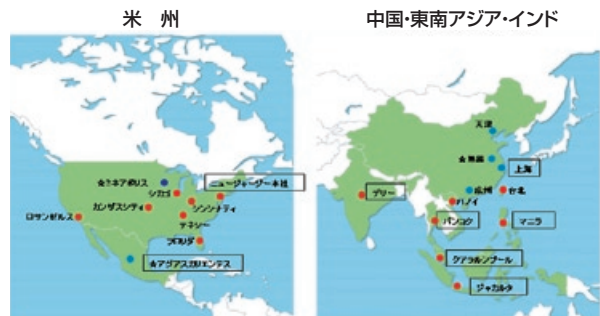
## 増配をいたしました。

2012年6月に業績と配当(年間16円から18円に)の上方修正をいたしました。さらに期末配当につきましては2円増配し11円とし、中間配当9円とあわせ年間20円とさせていただきます。今後も安定配当を基本方針に、さらに経営基盤を強化し業績向上を図ってまいります。

## 海外拠点。

国内に12か所、米州に9か所、中国に4か所、東南アジア・インドに7か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備しております。

2012年11月にメキシコに現地法人を設立し、海外拠点は10か国20か所に拡大いたしました。





連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期	当期
	平成23年11月30日 現在	平成24年11月30日 現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,799	21,565
固定資産	5,847	6,609
有形固定資産	3,773	4,182
無形固定資産	86	430
投資その他の資産	1,987	1,996
繰延資産	1	—
資産合計	23,648	28,174
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,636	13,699
固定負債	462	608
負債合計	11,098	14,308
<b>純資産の部</b>		
株主資本	12,502	13,707
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	9,999	11,204
自己株式	△ 211	△ 211
その他の包括利益累計額	△ 266	△ 232
その他有価証券評価差額金	78	79
土地再評価差額金	269	299
為替換算調整勘定	△ 613	△ 610
少数株主持分	313	391
純資産合計	12,549	13,866
負債純資産合計	23,648	28,174

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期	当期
	自平成22年12月1日 至平成23年11月30日	自平成23年12月1日 至平成24年11月30日
売上高	32,432	41,968
売上原価	27,997	35,908
売上総利益	4,435	6,060
割賦販売未実現利益戻入額	44	27
割賦販売未実現利益繰入額	31	18
差引売上総利益	4,447	6,068
販売費及び一般管理費	3,392	3,756
営業利益	1,055	2,311
営業外収益	253	238
営業外費用	79	54
経常利益	1,229	2,495
特別利益	23	15
特別損失	18	50
税金等調整前当期純利益	1,235	2,460
法人税、住民税及び事業税	498	1,068
法人税等調整額	39	△ 58
少数株主損益調整前当期純利益	698	1,450
少数株主利益	18	84
当期純利益	679	1,366

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期	当期
	自平成22年12月1日 至平成23年11月30日	自平成23年12月1日 至平成24年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	690	2,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 240	△ 885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 126	63
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 96	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	227	1,584
現金及び現金同等物の期首残高	5,776	6,003
現金及び現金同等物の期末残高	6,003	7,588

## 株式の状況 (平成24年11月30日現在)

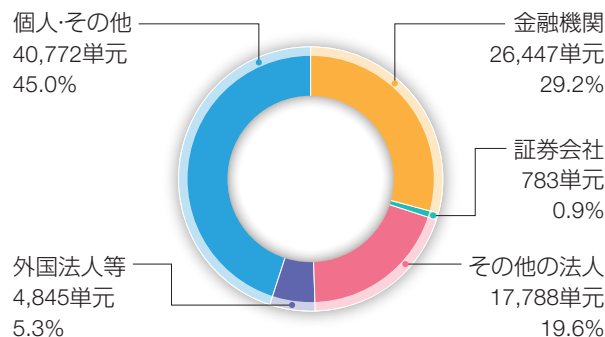
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	7,383名
単元株式数	100株

## 大株主(上位10名)の状況 (平成24年11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.6
株式会社不二越	576,000	6.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.1
株式会社りそな銀行	396,000	4.4
株式会社みずほ銀行	372,000	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	355,300	3.9
マルカキカイ従業員持株会	320,339	3.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.2
乾 孝 義	261,900	2.9
若 山 永 太 郎	212,300	2.3

(注) 持株比率は自己株式(262,359株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10位から除いております。

## 所有者別株式分布状況 (平成24年11月30日現在)



## 会社概要 (平成24年11月30日現在)

商 号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設 立	昭和21年(1946年)12月16日
本 社 所 在 地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ <a href="http://www.maruka.co.jp/">http://www.maruka.co.jp/</a>

主な事業内容 機械専門商社として産業機械、建設機械の国内販売および輸出入

資 本 金	14億1,441万円
従 業 員 数	連結 439名、単独 164名

## 役員 (平成25年2月26日現在)

代表取締役会長	釜 江 信 次
代表取締役社長	竹 下 敏 章
取締役兼執行役員	真 鍋 聡 一
取締役兼執行役員	諸 富 秀 一
取締役兼執行役員	難 波 経 久
取締役兼執行役員	吉 儀 裕 之
取締役兼執行役員	二 橋 春 久
取締役兼執行役員	飯 田 邦 彦
※ 取締役	湯 村 幸 次
相談役	乾 孝 義
常勤監査役	森 康 明
常勤監査役	有 山 晃 一
※ 監査役	柴 功 安
※ 監査役	長 崎 伸 郎
常務執行役員	安 田 洋 祐
執行役員	太 田 稔 夫
執行役員	三 好 辰 夫
執行役員	荻 野 純 一

上記※印は、社外取締役および社外監査役であります。

## 株主メモ

- 事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
- 期末配当受領株主確定日 11月30日
- 中間配当受領株主確定日 5月31日
- 定時株主総会 2月
- 基準日 定時株主総会については 11月30日  
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種お問合せ 電話 ☎ 0120-094-777  
※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。  
※特別口座に記録された株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。  
手続用紙請求電話 ☎ 0120-244-479 (本店証券代行部)  
☎ 0120-684-479 (大阪証券代行部)  
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 公告方法 電子公告 (当社ホームページをご覧ください。)  
<http://www.maruka.co.jp/>  
なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部



**マルカキカイ 株式会社**

<http://www.maruka.co.jp/>